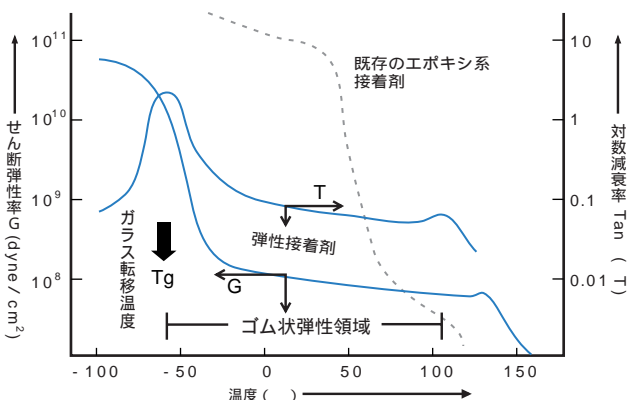


硬化物はゴム状弾性体

抜け自由減衰型粘弾性測定データ

弾性接着剤のガラス転移温度(T_g)は下図の如く -60 であり、弾性接着剤の硬化皮膜は、接着剤接合の一般的使用温度範囲より厳しい温度範囲の $-60 \sim 100$ で柔軟なゴム状弾性体を示し、各種接着特性に良好な結果をもたらす。



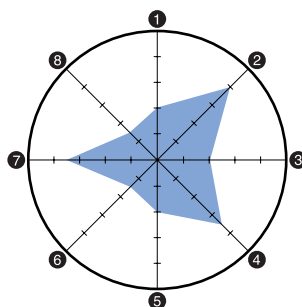
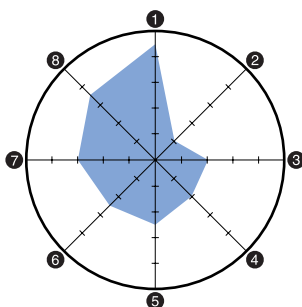
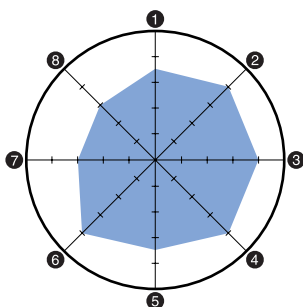
幅広い環境下で安定な接着性

“強靱かつ柔軟”な弾性皮膜を持つ弾性接着剤シリーズは、内部応力を分散・吸収する効果があり、幅広い環境下で安定した接着性を示す。

弾性接着剤

二液混合形エポキシ系接着剤

ゴム系溶剤形接着剤



試験条件

- ① 常態引張りせん断接着強さ(23)
- ② 常態はく離接着強さ(23)
- ③ サーマルショック試験 (-40 1時間-80 1時間10サイクル)
- ④ 衝撃接着強さ(アイソット法、23)
- ⑤ 温水浸漬接着強さ(80 温水、7日間)
- ⑥ 高温高湿接着強さ(80 、95%RH500時間)
- ⑦ 耐寒接着強さ(-30)
- ⑧ 熟老化接着強さ(80 、500時間)

プラスチック材料への接着性

エポキシ・変成シリコーン樹脂系弾性接着剤、PM165、PM200・PM210、EP001は、プラスチック材料に良好な接着性を示す。特にEP001は、これまで接着が難しかったエンジニアリングプラスチック材料の接着が可能。

(A)汎用プラスチック

引張りせん断接着強さ (単位: N/mm^2)

被着材	品名	PM165	PM210	EP001
ポリカーボネート		1.96	5.10	5.88
ナイロン		1.57	4.90	5.39
メタクリル樹脂		0.88	4.70	5.00
ポリスチレン		-	4.70	4.90
硬質塩化ビニル樹脂		1.86	7.06	8.04
ABS樹脂		2.06	5.98	6.76

(B)エンジニアリングプラスチック

引張りせん断接着強さ (単位: N/mm^2)

被着材	品名	EP001
PEEK(ポリエーテルエーテルケトン)		7.50
PES (ポリエーテルスルホン)		5.10
PSU (ポリスルホン)		5.00
PAI (ポリアミドイミド)		7.60
PET (ポリエチレンテレフタレート) (ガラス繊維入り)		8.00
PBT (ポリブチレンテレフタレート) (ガラス繊維入り)		5.20
PPS (ポリフェニレンスルフィド)		5.30
PPS (ポリフェニレンスルフィド) (ガラス繊維入り)		8.50
PPO (ポリフェニレンオキシド)		7.00
オキシベンゾイルポリエステル		5.90